



小手中魂

所沢市立小手指中学校 校長 結城 尊弘 令和7年2月28日発行
 【生徒数：1学年187名 2学年243名 3学年214名 8組11名 合計655名】

教育目標「主体的でたくましく生きる生徒」

合言葉「チーム小手中」とは
 情熱・授業力・社会性を持ち、生徒を
 第一に考える教師集団のこと



【見方】令和6～4年度経年変化（4件法の内、そう思う ややそう思う）の合計を%で表示しています。
 【保護者評価 回答数50%】この1年大変お世話になりました。温かなご理解ご協力に心より感謝申し上げます。

No.	質問項目	R6	R5	R4
1	学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に行っている	96	90	90
2	学校は学校行事や授業参観の機会を作り、参加しやすくしている	95	91	79
3	学校は授業の方法を工夫し生徒にわかる授業を実施している	85	60	54
4	学校は生徒の学習の成果が見える公正公平な評価をしている	88	68	69
5	学校は相談事や悩みなどについて親身に対応している	92	76	67
6	学校はいじめやトラブルに対応し居心地のよい学級づくりに努めている	89	63	51
7	学校は秩序や規律を高める生徒指導を行っている	91	74	69
8	学校は生徒と共に校内の環境美化に積極的に取り組んでいる	95	72	74
9	生徒は喜んで学校に通っている	83	70	76
10	生徒は自分の言動を振り返り、生き方を考え、豊かな心が育っている	81	69	76
11	生徒は自分なりの夢や目標を持って、学校生活を送っている	74	78	82
12	生徒は身の周りの片付けなどの整理整頓ができている	70	53	59
13	生徒は意欲的に授業に取り組んでいる	74	73	80
14	生徒は自主的に家庭学習する習慣が身についている	55	51	64
15	生徒は体育祭・合唱祭に熱心に取り組んでいた	93	89	95
16	生徒は校外学習や様々な学校行事を経験して成長している	94	91	93
17	生徒は進路学習等により、将来の生き方に関心を持つようになっている	73	63	69
18	生徒は生徒会活動や委員会活動、係活動に積極的に取り組み、貢献している	80	66	69
19	生徒は部活動等を通じて努力する姿勢や仲間を大切にすることを育っている	83	81	88
20	生徒は交通安全に十分注意をして登下校を行っている	92	71	67

授業↑

生徒指導↑

将来に夢や目標が持てない。自主性や意欲とも密接な関係がある。

家庭学習習慣に課題!!

【生徒評価】今年度より生徒による学校評価を行いました。生徒の声こそ最高のエビデンス。

No.	質問項目	1年生	2年生	3年生
1	学校教育目標や学年・学級目標を意識して生活しましたか。	88	85	86
2	学校生活は楽しかったか。	97	93	91
3	学校生活は充実していましたか。	94	93	92
4	授業に真剣に取り組めましたか。	96	93	97
5	授業の内容は理解できましたか。	90	90	95
6	家庭学習の習慣はついたと思いますか。	77	64	82
7	仲間と協力して生活できましたか。	99	95	94
8	集団生活のルール・マナーは守れましたか。	95	95	97
9	学校生活や登下校時に、安全面を意識して行動することができましたか。	97	93	96
10	先生方は、教育活動に熱心に取り組んでいたと思いますか。	98	100	97
11	先生方は、相談したとき、親切に応じてくれましたか。	97	98	94
12	先生方はわかりやすく教科の授業をしてくれましたか。	98	99	96
13	道徳の授業は充実していたと思いますか。	96	95	97
14	学級活動（学活）は充実していたと思いますか。	93	92	95
15	学校行事（体育祭・合唱祭・修学旅行・校外学習）は充実していたと思いますか。	98	96	97
16	総合的な学習の時間は充実していたと思いますか。	95	96	97
17	部活動は充実していたと思いますか。	91	82	88
18	施設・設備の安全性について対策が講じられていたと思いますか。	95	91	92
19	学校と家庭の協力がよくできていたと思いますか。	94	93	91
20	いじめや暴力がなく一人一人の人権が大切にされる学校でしたか	84	91	91

「自分で決めて行動する」「話し合って合意形成を図る」などの経験をあらゆる場面で取り入れ、主体性とたくましく生きる力を育成していく。

令和6年度（2024）教育活動のまとめ ～子供たちが安心して学べる学校を目指して～

厳しい冬を乗り越え、希望の春がもう間もなく訪れそうです。三寒四温を繰り返しながら、2月には、本校の正門の音楽室側に、梅の花が咲き誇っていました。次は、桜のつぼみが膨らみ、開花へ準備を始めています。桜梅桃李です。

さて、昨年12月に実施いたしました「本校の教育活動についての保護者の皆様による学校評価」及び「生徒による学校評価（今年度より開始）」の結果がまとまりました。本号ではその結果及び考察につきましてお知らせいたします。



小手中の梅 満開

学校教育目標『主体的にたくましく生きる生徒の育成』目指し、教育活動に取り組んで参りましたが、成果とともに課題となる部分がありました。皆様からいただいたご意見を本校に対する期待の表れと捉え、次年度の教育活動に生かして参ります。来年度も本校に対するご支援を賜りますようお願い申し上げます。「そう思う」と「ややそう思う」の回答を合わせた肯定的評価の割合は、昨年の評価結果と比べ、多くの項目で上がっていました。しかし、次年度に向けさらなる改善に努めてまいりますので、よろしく願いいたします。

《保護者評価結果について》 ★…プラス面 ▲…課題

★90%達成が20項目中8項目（40%）

R4年、R5年では、共に20項目中3項目（15%）であったことを考えると一定の評価をいただけている。

★特に【No.3】わかる授業では25%、【No.6】居心地のよい学級づくりは26%のアップが見られ、教職員の日々の教育活動を評価していただけた。今後より一層の充実、推進に努めていく。

★【No.1】【No.2】の評価から家庭との連携・充実が図れていると分かる。一重に力強いPTAバックアップ体制のおかげと感謝している。今後も様々な情報発信に努め、家庭や地域との連携を図っていく。

★【No.5】生徒指導においても、学校の対応を信頼していただけていることが分かる。今後さらに、共感的理解に基づく積極的な生徒指導と一人一人に寄り添う教育相談体制の更なる充実を図っていく。

▲逆に、最も低く、唯一、R4、R5よりポイントが下がったのが【No.11】夢・目標である。【No.17】将来の生き方と併せて、生徒が未来に明確なビジョンを持って生活できるよう、キャリア教育の充実を図っていく。

これは【No.12】自主自立、【No.13】意欲、【No.14】家庭学習とも密接な関係がある。夢や目標を持つことが、やる気、自主性を引き出す。一人一人の心に寄り添い、可能性を信じ抜く。そこから始まる新しい教育の形を目指す。

《生徒評価結果について》

★概ね90%を超え、良好な学校生活が送れていると前向きに捉えていることが分かる。

▲ただし、【No.6】家庭学習が極めて低い。これは保護者結果とも一致＝本校の最大の課題である。今後「わかる授業の充実」と「家庭学習の定着」の両輪に取り組み、「主体的に学習に取り組む力」「学びに向かう力」を育むための魅力ある学習指導、興味関心を高める授業改善を図っていく。学びからの逃避傾向に歯止めをかけていく。

《自由記述》

☆学校への感謝のコメント16件（励みになります） ☆授業・学習指導に関すること 12件

☆学校の情報発信に関すること 5件 ☆学校生活の安定・安心に関すること 8件

☆学校行事に関すること 4件 ☆部活動に関すること 4件 ☆不登校問題に関すること 2件

延べ49件の自由意見をいただきました。これらの記述については、全教職員で共有し、すぐに改善できること、改善の方向へ努力を重ねていくこと、学校の考えをご理解いただけるよう努力していくことなど、何度も会議を重ね、次年度の教育計画を検討しております。授業・学習指導に関するご意見につきまして、教職員一同、より良い学習環境が提供できるよう、授業改善を図ってまいります。また、学校生活の安定・安心に関することについては、学習・生活・部活動における生徒や教師との関係性・集団におけるよりよい運営の在り方等の様々な観点からご意見をいただきました。現在の社会情勢における教育活動の進め方について、貴重なご意見もいただきました。

参考にさせていただき、今後（次年度）の教育活動に生かして参ります。